

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

横浜市スポーツ医科学センターの審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	MRI の信号変化の定量化による 初期疲労骨折の改善度の評価とスポーツ復帰状況との相関		
1. 研究の目的と方法	疲労骨折は、スポーツ動作などによる軽微な外力が繰り返し加わることで生じる骨折であり、頻度が高いスポーツ障害です。発症初期では単純 X 線像では異常を認めないことが多く、診断には MRI 検査が有用です。しかし、疲労骨折の改善度の評価、復帰時期の判断に際しては、身体所見のほか、MRI による客観的評価が困難であり、これは、MRI の撮像条件を毎回、一定にすることが困難であるため、輝度変化の推移を客観的指標として使用できないことが要因であります。そこで、MRI での信号変化を定量化し、これと症状の改善度や復帰状況との相関を調査することで、MRI を用いた客観的評価によってスポーツ復帰可能時期の評価を可能にすることを目的とします。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2028 年 12 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	<ul style="list-style-type: none">・ 2015 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日の期間における、横浜市スポーツ医科学センターおよび東京慈恵会医科大学附属大学病院で、腰椎分離症、または中足骨、足根骨の初期疲労骨折と診断された方・ 複数回、MRI 検査を施行されていた方		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、既往歴、スポーツ種目、身体所見、単純 X 線画像、MRI 画像	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	横浜市スポーツ医科学センター 整形外科
		氏名	村山雄輔
	(2) 当施設の長	横浜市スポーツ医科学センター センター長 青木治人	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1) の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	東京慈恵会医科大学 整形外科学講座 教授 舟崎裕記		

<p>6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて</p>	<p>この研究で収集・取得された試料・情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報を削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、5(1)に記載された研究代表者のもとに、以下の方法で集められます。</p> <p>提供方法：パスワードを掛けた USB メモリ等の電子記録媒体を直接手渡し</p> <p>試料・情報の利用または提供予定開始日：2024 年 4 月頃～</p>
<p>【問い合わせ先】</p>	<p>機関名：横浜市スポーツ医科学センター、東京慈恵会医科大学 整形外科</p> <p>研究責任者：村山 雄輔（むらやま ゆうすけ）</p> <p>電話番号：047-477-5050</p> <p>対応時間：月・水・木・土 9:00～17:00</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。